

**令和3年度**

# 三島二次医療圏 「地域医療構想」の進捗状況

## 大阪アプローチ

圏域ごとのデータに基づく分析をもとに  
公民のイコールフティングで  
病床機能分化の議論を進める

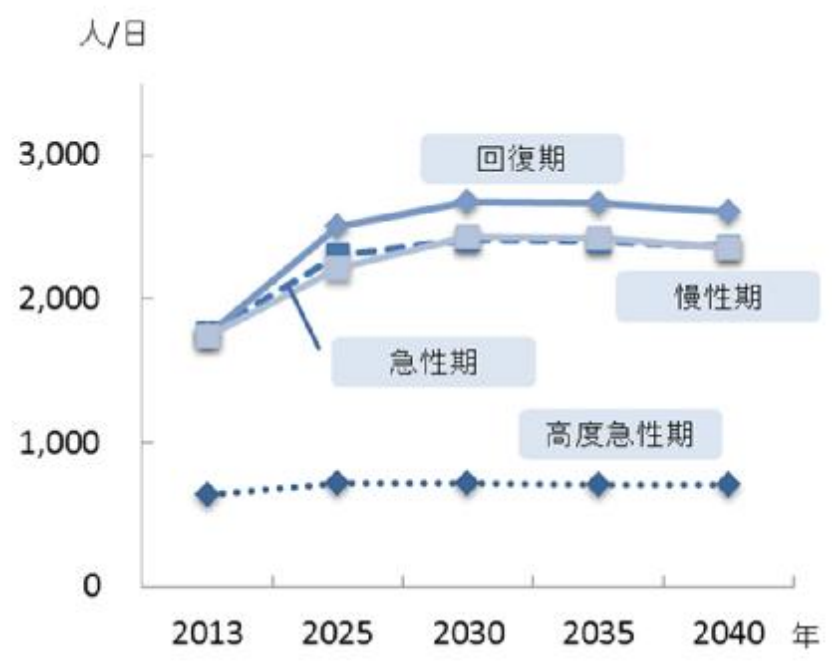
# Contents

- ① 三島二次医療圏の概要**
  - (1) 今後の医療需要の見込み
  - (2) 医療体制の概要
  - (3) 病床機能分化の状況
  
- ② 将来のあるべき医療体制に向けて**
  - (1) 2025年に各病院が検討している医療機能・病床機能
  - (2) 2025年に各病院が検討している病床機能のまとめ

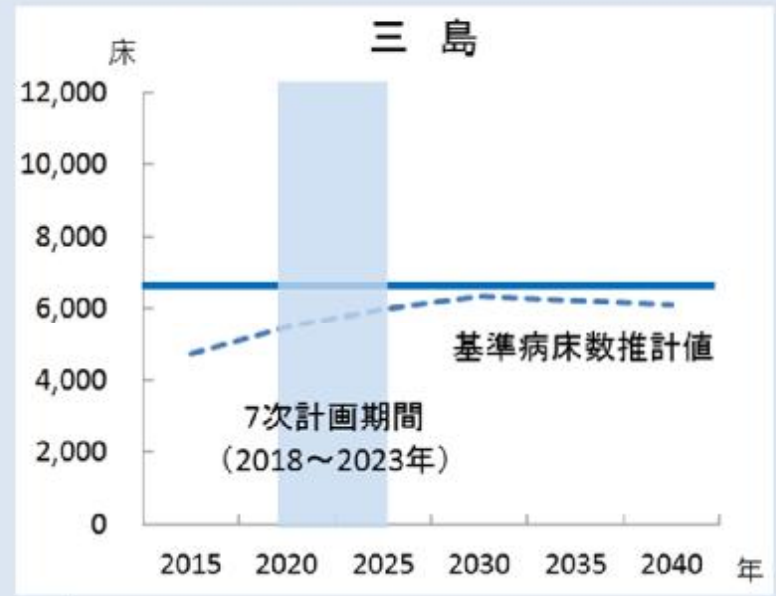
# 1 三島二次医療圏の概要 (1) 今後の医療需要の見込み

三島二次医療圏では、今後、2030年をピークに医療需要(特に回復期)が増加する見込み

● 病床機能ごとの医療需要の見込み(総計)



● 基準病床数の見込み



基準病床数の将来見込みでは、2030年においても、既存病床数に達しない見込み。

	2013年	2025年		2030年		2035年		2040年	
	(人/日)	(人/日)	対2013年	(人/日)	対2013年	(人/日)	対2013年	(人/日)	対2013年
高度急性期	639	717	1.12	724	1.13	716	1.12	707	1.11
急性期	1,759	2,309	1.31	2,415	1.37	2,400	1.36	2,365	1.34
回復期	1,750	2,507	1.43	2,676	1.53	2,660	1.52	2,606	1.49
慢性期	1,743	2,217	1.27	2,435	1.40	2,426	1.39	2,359	1.35
合計	5,891	7,750	1.32	8,250	1.40	8,202	1.39	8,037	1.36

参照：第7次大阪府医療計画 一部改編

# 1 三島二次医療圏の概要(2) 医療体制の概要①

## 三島二次医療圏では 公的医療機関等2025プラン対象病院が7病院となっている

### ● 主な医療施設の状況

所在地	病院名	新公立病院改革プラン にかかると補足調査対象	対象病院 公的医療機関等 2025プラン	特定機能病院	地域医療支援病院	社会医療法人開設病院	公的医療機関等	府立病院機構	在宅療養後方支援病院	がん診療拠点病院	三次救急医療機関	災害拠点病院	特定診療災害医療センター	周産期母子医療センター	感染症指定医療機関	結核病床を有する病院	エイズ治療拠点病院	
																		0
高槻市	医療法人東和会第一東和会病院		○		○				○									
	社会医療法人祐生会みどりヶ丘病院		○		○	○			○									
	高槻赤十字病院		○		○	○			○									
	社会医療法人愛仁会高槻病院		○		○	○			○	○				□				
	大阪医科薬科大学病院		○	○							□	○		○				○
	社会医療法人仙養会北摂総合病院		○		○	○			○	○								
茨木市	社会福祉法人恩賜財団済生会支部大阪府済生会茨木病院		○		○	○			○									
合計		0	7	1	6	3	2	0	5	4	0	1	0	2	0	0	1	



2021年10月末時点  
【対象病院数32の内訳】  
公立病院：0  
公的病院：7  
民間等病院：25

※ 「がん診療拠点病院」の□印は「地域がん診療連携拠点病院（国指定）」、○印は「大阪府がん診療拠点病院（府指定）」を示す。  
※ 「周産期母子医療センター」の□印は「総合周産期母子医療センター」、○印は「地域周産期母子医療センター」を示す。

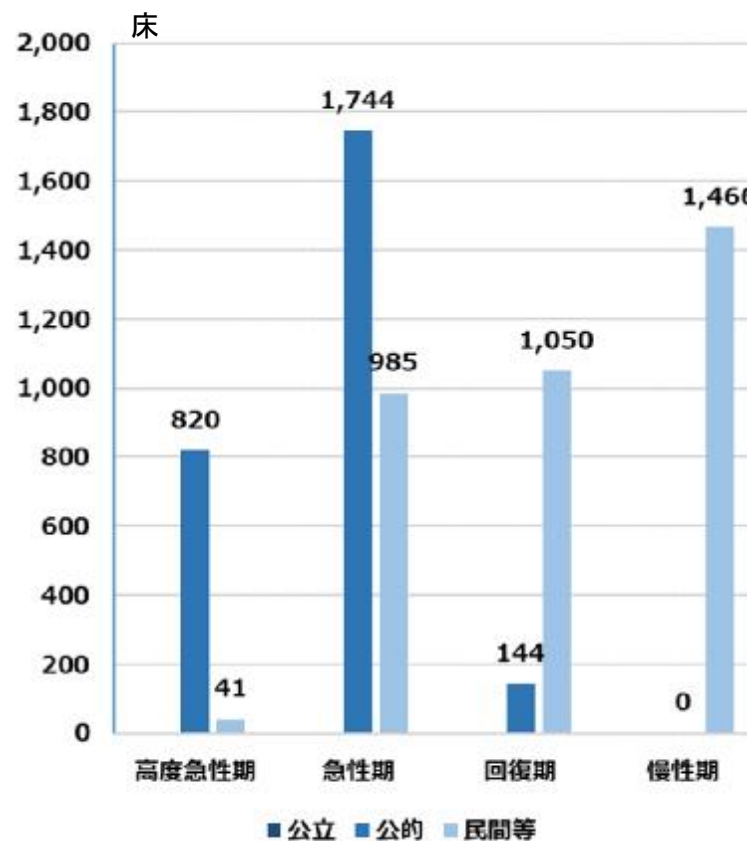
# 1 三島二次医療圏の概要(2) 医療体制の概要②(病床機能別実態)

## 回復期・慢性期を民間病院等が担っている

### ●病院プラン調査等提出

公立・公的・民間等	対象病院数	提出病院数	提出率
公立	0	0	—
公的	7	7	100%
民間等	25	25	100%
合計	32	32	100%

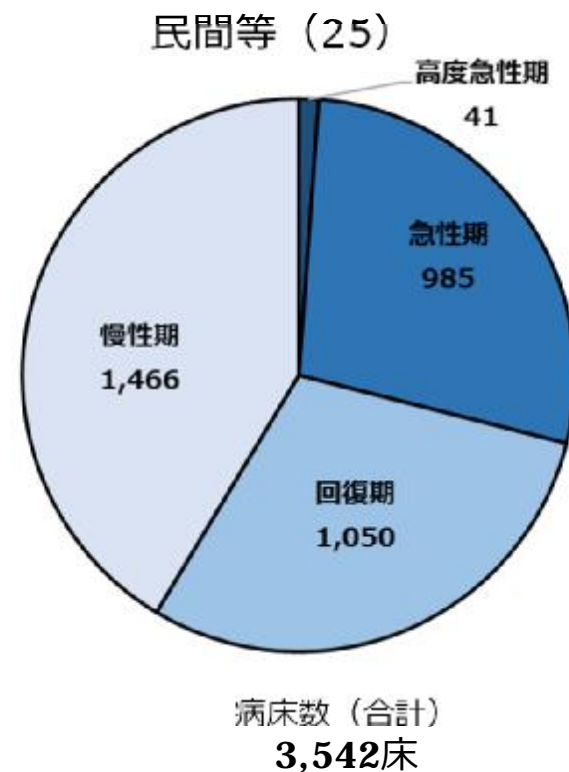
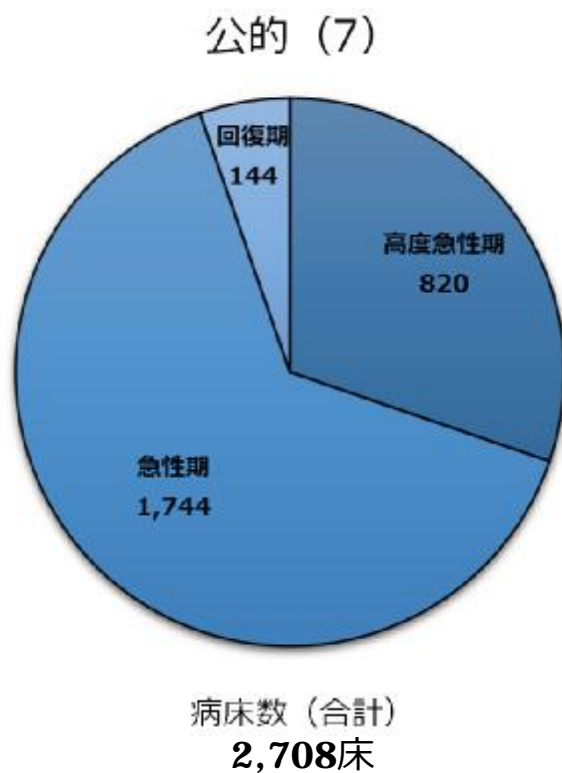
### ●病床機能別病床数



# 1 三島二次医療圏の概要(2) 医療体制の概要③(公民別病床機能)

公的・民間等、それぞれにおいて有する病床機能の割合は異なっている

●公民別病床数の病床機能別割合(病院プラン等提出32病院(公立0、公的7、民間等25))



※公立医療機関はなし

参照：2021年度病院プラン調査等（速報値：12月24日現在）

# 1 三島二次医療圏の概要(2) 医療体制の概要④(公民別病床機能)

## ●【参考】保健所管内別病床機能別割合

病床機能別病床数【令和3年7月時点】（茨木保健所管内）

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
公立	0	0	0	0	0
公的	2	313	0	0	315
民間等	0	778	691	1,018	2,487
計	2	1,091	691	1,018	2,802

病床機能別割合【令和3年7月時点】（茨木保健所管内）

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
公立	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
公的	0.6%	99.4%	0.0%	0.0%	100%
民間等	0.0%	31.3%	27.8%	40.9%	100%
計	0.1%	38.9%	24.7%	36.3%	100%

病床機能別病床数【令和3年7月時点】（高槻市保健所管内）

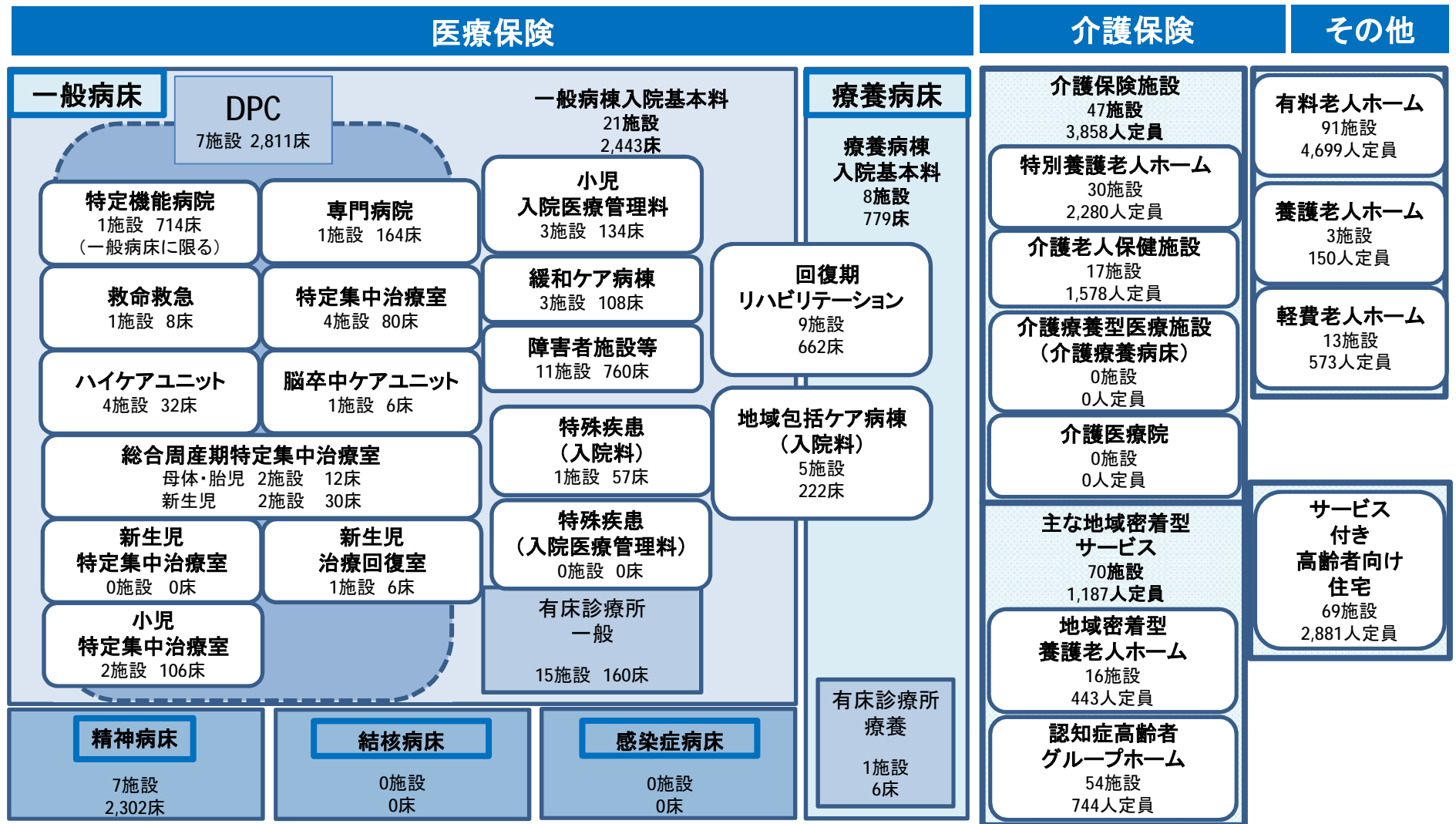
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
公立	0	0	0	0	0
公的	818	1,431	144	0	2,393
民間等	41	207	359	448	1,055
計	859	1,638	503	448	3,448

病床機能別割合【令和3年7月時点】（高槻市保健所管内）

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
公立	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
公的	34.2%	59.8%	6.0%	0.0%	100%
民間等	3.9%	19.6%	34.0%	42.5%	100%
計	24.9%	47.5%	14.6%	13.0%	100%

# 1 三島二次医療圏の概要(2) 医療体制の概要⑤(医療介護提供体制)

医療・介護提供体制は、多くの機能・施設から構成されている



出典 「医療保険」病床機能報告(2020年7月1日時点)ただし、次項目は右記のとおり、精神病床・結核病床・感染症病床(大阪府健康医療部資料(2021年10月31日時点))

「介護保険・その他」大阪府福祉部資料(認知症高齢者グループホームの施設数は2021年4月1日時点、定員数は2020年3月31日時点、

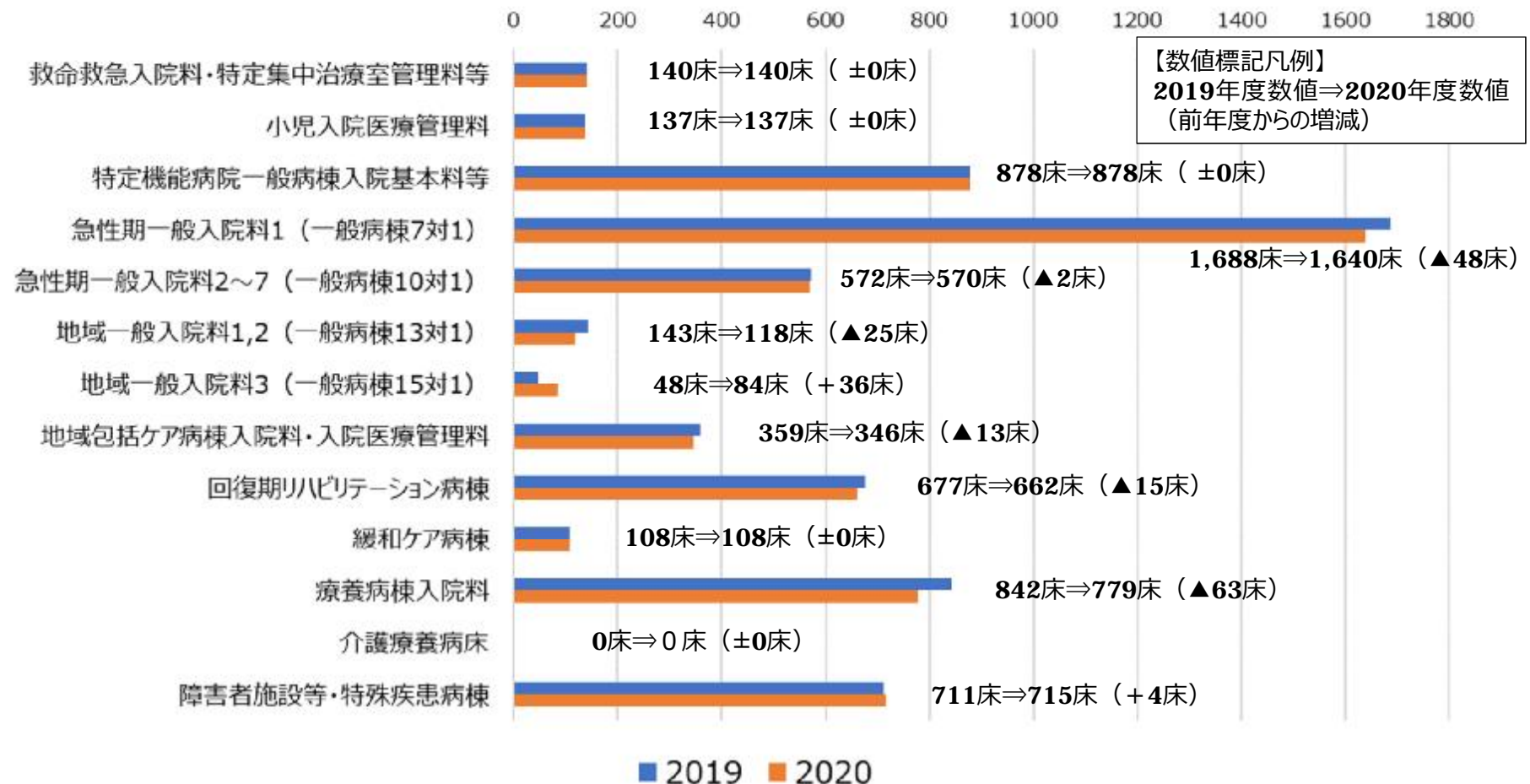
有料老人ホームは2021年10月1日時点、サービス付き高齢者住宅は2021年4月30日時点、その他施設は2021年4月1日時点)



# 1 三島二次医療圏の概要(2) 医療体制の概要⑥(入院料別の経年変化)

## 療養病棟入院料、急性期一般入院料1(一般病棟7対1)などの報告病床数が減少している

### ●入院料別報告病床数の推移



# ① 三島二次医療圏の概要(2) 医療体制の概要⑦(転換補助金)

「病床転換等促進事業補助金」については、  
三島二次医療圏において3病院に対し、交付実績がある

## 病床転換等促進事業補助金（実績）

大阪府全体

	補助金交付病院数			補助金交付病床数		
		(内) 病床転換完了	(内) 公立・公的病院		(内) 病床転換完了	(内) 公立・公的病院
2015年	3	3	3	119	119	119
2016年	5	3	0	103	63	0
2017年	7	5	2	303	125	41
2018年	7	6	0	315	285	0
2019年	8	4	1	256	44	6
2020年	6	5	0	262	154	0
合計	36	26	6	1358	790	166

三島

	補助金交付病院数			補助金交付病床数		
		(内) 病床転換完了	(内) 公立・公的病院		(内) 病床転換完了	(内) 公立・公的病院
2015年	0	0	0	0	0	0
2016年	1	0	0	16	0	0
2017年	2	2	0	56	56	0
2018年	0	0	0	0	0	0
2019年	0	0	0	0	0	0
2020年	0	0	0	0	0	0
合計	3	2	0	72	56	0

# 1 三島二次医療圏の概要 (3) 病床機能分化の状況

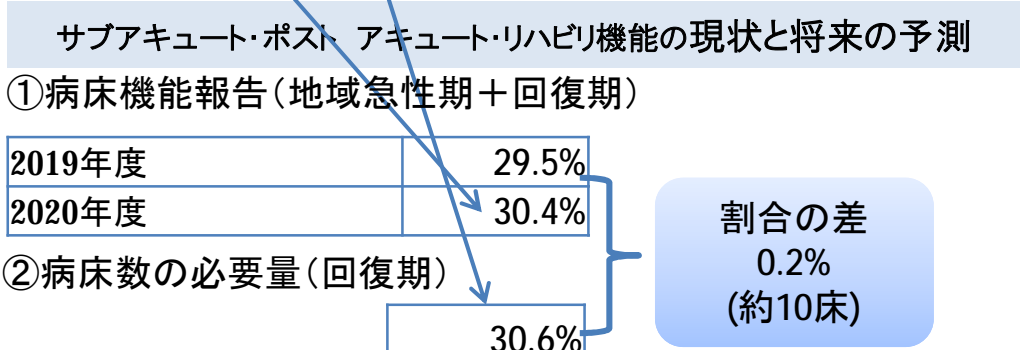
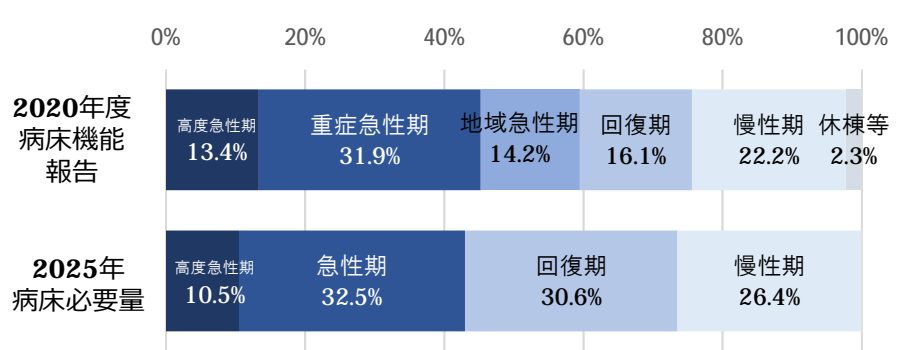
**病床数の必要量における回復期機能を担う病床数は、三島二次医療圏では、ほぼ確保できる見込みである**

## ● 病床機能報告と病床数の必要量の比較

区分	年度	高度急性期	急性期				回復期	慢性期	休棟等	未報告等	合計
			重症急性期	急性期(不明)	地域急性期						
病床数の必要量	2013	852	2,255				1,944	1,895			6,946
病床機能報告	2014	947	3,296				858	1,494	15	121	6,731
病床機能報告	2015	957	3,193				886	1,545	74	37	6,692
病床機能報告	2016	942	3,214				811	1,524	79	84	6,654
病床機能報告	2017	887	3,337	1,970	0	1,367	913	1,426	84	20	6,667
病床機能報告	2018	890	3,095	2,429	0	666	1,058	1,507	84	0	6,634
病床機能報告	2019	901	2,937	2,030	0	907	1,009	1,455	189	132	6,623
病床機能報告	2020	861	2,971	2,054	0	917	1,038	1,428	145	9	6,452
病床数の必要量【既存病床数内】	2025	677	2,096				1,972	1,706			6,452
病床数の必要量【オロナル】	2025	956	2,961				2,786	2,410			9,113

## ● 病床機能報告 (2020年度) と病床数の必要量 (2025年) の割合の比較

区分	年度	高度急性期	急性期				回復期	慢性期	休棟等
			重症急性期	急性期(不明)	地域急性期				
病床機能報告	2019	13.9%	31.3%	0.0%	14.0%	15.5%	22.4%	2.9%	
病床機能報告	2020	13.4%	31.9%	0.0%	14.2%	16.1%	22.2%	2.3%	
病床数の必要量	2025	10.5%	32.5%			30.6%	26.4%		



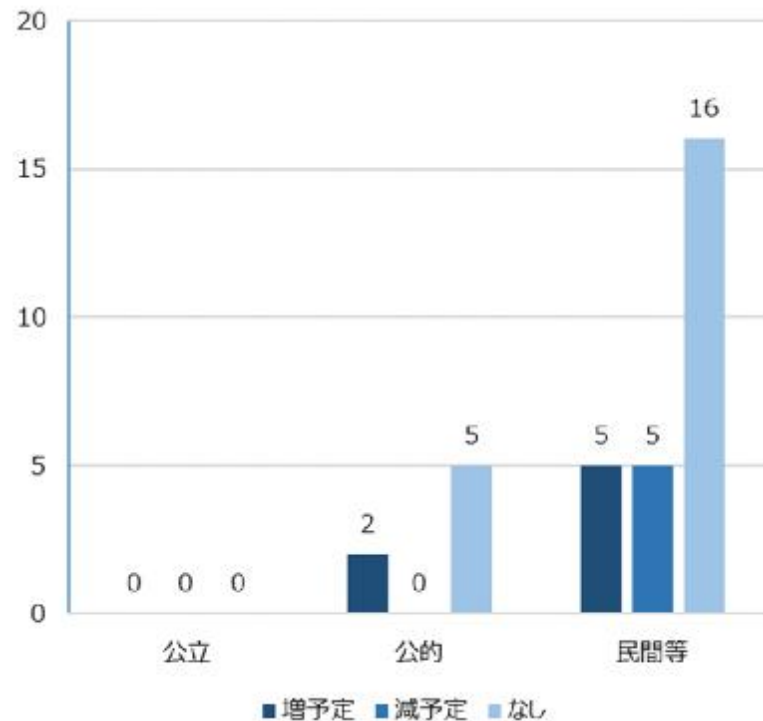
参照 病床機能報告

## 2 将来のあるべき医療体制に向けて

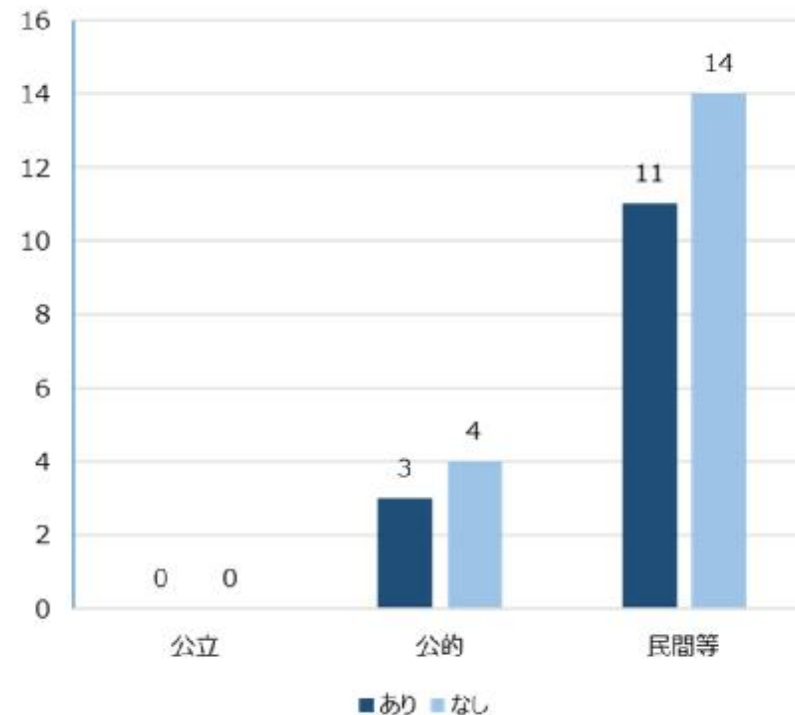
### (1) 2025年に各病院が検討している医療機能・病床機能①

2025年に向けた診療科の見直しを32か所の医療機関の内11か所が予定しており、建て替えを14か所が検討している

● 2025年に向けた診療科の見直しの予定の有無



● 建て替えの検討の有無



# 5 将来のあるべき医療体制に向けて

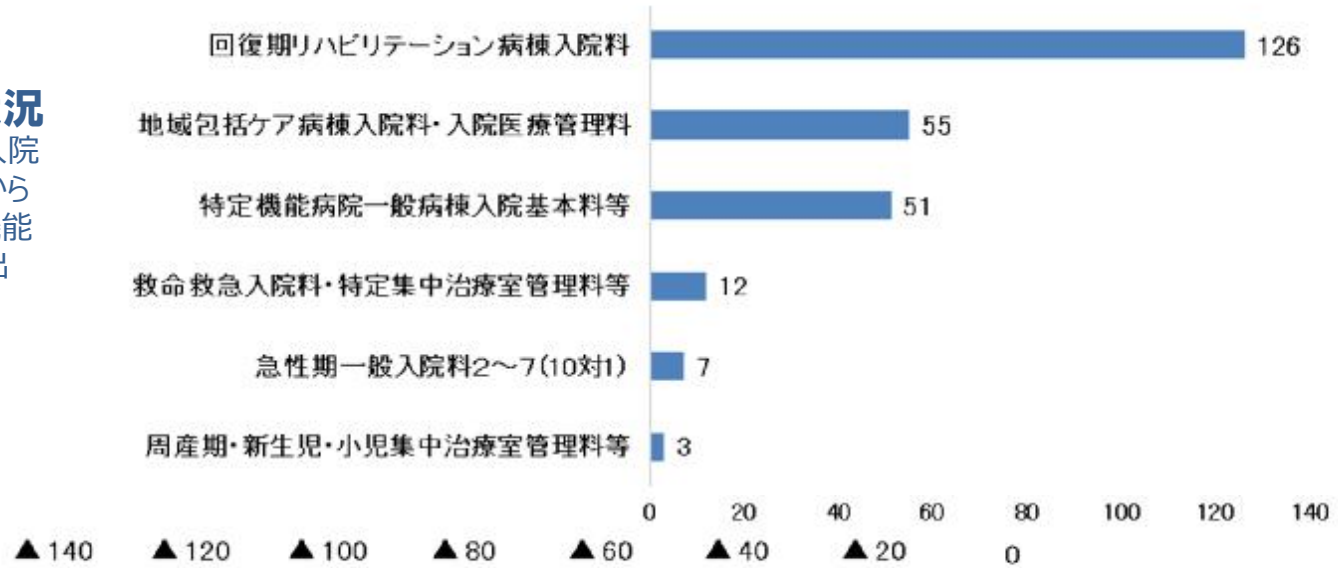
## (1) 2025年に各病院が検討している医療機能・病床機能②

**各病院が検討している病床機能等の変更は、  
構想がめざす病床機能分化の方向性と概ね一致**

### ●入院料別の検討状況※

#### ※2025年に向けた検討状況

各病院の2025年に検討している 入院料別（病床機能別）病床数総計から各病院の現在の入院料別（病床機能別）病床数の総計を差し引いて算出



### ●公立・公的・民間別の検討状況※

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
公立	0	0	0	0	0
公的	88	▲ 17	0	0	71
民間等	▲ 41	10	181	▲ 202	▲ 52
計	47	▲ 7	181	▲ 202	19



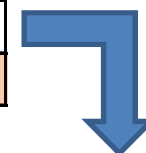
参照：2021年度病院プラン調査等（速報値：12月24日現在） 13

## 2 将来のあるべき医療体制に向けて

### (1) 2025年に各病院が検討している医療機能・病床機能③

三島救命救急センターが閉鎖し、救命救急事業が大阪医科薬科大学病院に委譲され、2022年に救命救急センターを新設予定

住所	医療機関名	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	非稼働	計
高槻市	大阪医科薬科大学病院	737	55	0	0	30	822
	大阪府三島救命救急センター	41	0	0	0	0	41
計		778	55	0	0	30	863



新設予定時期	医療機関名	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	非稼働	計
2022年7月	【新】大阪医科薬科大学病院	800	55	0	0	8	863
計		800	55	0	0	8	863
増減		22	0	0	0	▲ 22	0

## 2 将来のあるべき医療体制に向けて

### (1) 2025年に各病院が検討している医療機能・病床機能④

#### ●【参考】保健所所管内別病床機能の検討状況※

病床機能別増減表（三島：茨木保健所所管内）

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
公立	0	0	0	0	0
公的	0	0	0	0	0
民間等	0	13	135	▲ 161	▲ 13
計	0	13	135	▲ 161	▲ 13

病床機能別増減表（三島：高槻市保健所所管内）

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
公立	0	0	0	0	0
公的	88	▲ 17	0	0	71
民間等	▲ 41	▲ 3	46	▲ 41	▲ 39
計	47	▲ 20	46	▲ 41	32

#### ※2025年に向けた検討状況

各病院の2025年に検討している 入院料別（病床機能別）病床数総計から各病院の現在の入院料別（病床機能別）病床数の総計を差し引いて算出

## 2 将来のあるべき医療体制に向けて

### (2) 2025年に各病院が検討している病床機能のまとめ

○将来に向けて地域包括ケア病棟・回復期リハビリテーション病棟の病床数は増加する傾向が見込まれる

○また、救命救急入院料・特定集中治療室管理料等の高度急性期機能への転換を予定している医療機関が一定数存在する